

なかよしだより

平成30年10月

こども園の役割は？（理性と知性なくして成長なし）

園長 杉山 智

この文章はある雑誌に頼まれて載せた文章です。激変する社会の中でいかに子どもたちを守っていくか、正しい方向へ導いていくのか、大人の責務だと考えます。

幼稚園は何をやる場所なのでしょうか。子どもたちが何を得て、何を学ぶ場所なのでしょうか。

みくに幼稚園では子どもたちは「整えられた環境」の中で互いに刺激しあいながら、真に目的ある活動をしていきます。

年長児たちは年下の子どもたちを教師以上に上手に指導したり、年少児たちは年長の姿を見、まねをしながら成長を遂げています。年少児にとって身近に年長児がいることにより目の前の目標となり、自己の活動の指標として生活を広げていきます。

また、モンテッソーリ教具を自由にこなす様子を見て、その活動に興味関心を持ち、自ら進んで取り組むようになる。

年長児たちは年少児の模範となるべく行動し、進んで世話をし、教具、生活の手助けをすることにより、独立心、積極性、社会性などを体験を通して獲得していくのです。年長児でも、自立しにくかったり友だちとうまく遊べなかったりとなかなか集団生活になじめない子も、進んで活動に取り組めない子も、年長者として年少児から接せられることにより、自信を持つてくる。「小さい先生」として活動できるのです。

現在、次の点が日本の幼児にとっての課題だといわれています

- ①情動コントロール力のアップ 我慢する、自分をコントロールすることの大切さ
- ②身体諸力の育て コミュニケーションの感受性豊かな身体
- ③自尊感情のアップ 自分は大切にされている、だから他人にも親切にできること
- ④学力格差拡大問題の克服 問題解決の方法を自ら切り開くことができること

これらの課題を解決し、おごることなく、理想を高く掲げ一人ひとりの思いを大切にしていけるようこれからも教育を行っていきます。皆様のご協力をお願いいたします。

つくし組 1歳児

爽やかな秋晴れが続いています。歩いたり走ったりすることが気持ちよい季節になりました。

つくし組さんは友だちと遊んでいることが多くなり、名前を呼びあったりしています。また、自分の思いを一生懸命に伝えようとする姿も見られます。読書の秋なので絵本に親しむ機会を多く作ります。気温がまだまだ変動するのでロッカーには半袖と長袖の用意をお願いします。

さくら組 2歳児

食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、実りの秋、楽しみの多い季節がやってきました。さくら組では、散歩に行き始め、お友だちと手をつないで歩く楽しみを感じています。これからも季節の変化を味わいながら散歩を楽しんだり、戸外でノビノビ遊びたいと思います。寒暖差の多い季節ですので、こちらで調節させていただけるように半袖と長袖のご用意をお願いします。

ちゅうりっぷ組 3歳児

新たに加わったお友だちと一緒に、のりや折り紙に加え、はさみを使った製作にも挑戦しています。はさみの使い方や片づけをしっかりと行って安全や整理整頓も定着させています。運動会の練習を頑張りました。順番やルールを知り、かけっこをしたり、遊戯も歌いながら表現ができるようになりました。先日の芋ほりでは収穫の喜びを体験していました。

ひまわり組 4歳児

運動会に向けて、毎日一生懸命練習した、ひまわり組さん。速くて難しかった遊戯も、なかなか入らなかった玉入れも段々とできるようになり、日々の積み重ねの成果や達成感を味わいました。10月は経験画を通して、楽しかったことを振り返り自分を客観的に描けるようにします。涼しくなってきましたが、秋の季節として食べ物や自然の変化にも気づいて新たな発見ができるようにしていきます。

すみれ組 5歳児

9月は運動会に向けて一生懸命練習をしてきました。みくに学園との合同練習では環境も変わり緊張している様子でしたが、苦労していた組体操も最後まであきらめず、とてもよく頑張っていました。10月は遠足やハロウィン、落花生の収穫がありますので楽しみにしててください。